

高年齢従業員に対する取組み

Kmグループ
弥生交通株式会社

会社概要



創業	昭和36年10月30日
所在地	東京都中野区弥生町
従業員数	98名（2024年9月現在）
事業内容	一般乗用旅客運送事業 車両台数51台



制度面の取り組み

① 定年制度の改定

平成31年4月に60歳から65歳に引き上げ
定年後は有期雇用契約（75歳まで）、短時間労働契約（年齢上限なし）

② 賃金制度の改定

評価制度の抜本的な見直しを実施しモチベーションアップに繋がった
高齢従業員にとっても賃金形態を見直した事で、従来より無理なく
仕事ができるようになり心身的な負担を軽減した

③ 多様な勤務形態

雇用形態に囚われずに定年後も従来と同じように仕事をする事が出来るように
勤務形態別のポジション（始業就業時刻）数を大幅に増設
また、本人の希望で短時間労働への雇用形態変更も可能としている

制度面を改定する際は

Point!



制度を改訂する際には従業員からの同意を得る！！

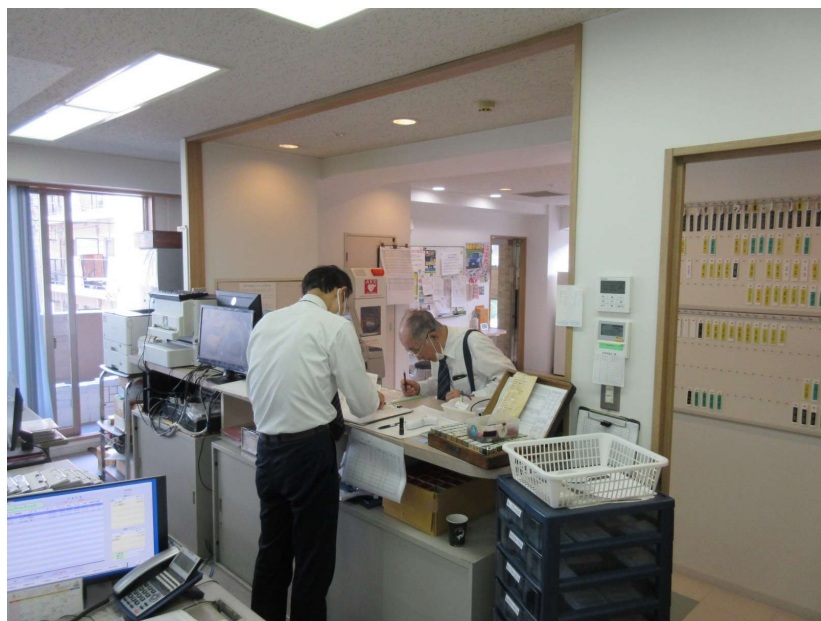
弥生交通では制度を改定する際には、会社からの提案、従業員からの提案どちらにおいても必ず事前に今後の方針について全従業員に対してお知らせを行います。その後、委員会を設置し、経過報告を細かく行いながら意見等の吸い上げをし、最終説明会を実施、従業員の同意を得て改定となります。改定の理由、目的などをしっかり説明し、時間をかけて制度改定を進める事で、高齢従業員のみならず、全従業員がストレスなく仕事出来るように努めています。

維持向上の為の取り組み

点呼

点呼：対面点呼と集団点呼を2回実施

【個別対面点呼】



【集団点呼】



維持向上の為の取り組み

研修

研修：新規採用者や希望者に対して
独自研修施設（Kmホスピタリティカレッジ）を設け
【接客接遇・事故防止・オブジェ・地理研修・救命講習】
などの研修を実施。
その他、車椅子研修、ドライビング研修、随時研修、を実施



【車椅子研修】



【随時研修】

維持向上の為の取り組み

教育

教育：毎月2回全従業員を対象にした全体補習教育を実施。

警察による安全講習会や東京タクシーセンターによる講習会を実施

【地元警察署による安全講習会】

【東京タクシーセンターによる巡回講習会】



研修・指導・教育をする際は

Point!



分からないを見逃さない！！

どんなに研修や指導教育を充実させて実施しても、実施した事が管理者の自己満足になってはなりません。

特に、高齢者従業員は一度で色んな事を覚えるのが大変な場合があります。繰り返し確認、再研修、再教育などのフォローアップが重要です。

理解度を常に把握する為には、日頃からコミュニケーションをしっかりととり、管理者からの声掛けはもちろんのこと、従業員からも気兼ねなく色んな事を聞ける関係作り、職場環境作りをしていく事がとても大切になると思っています。

高年齢従業員の役割事例

同乗指導

初めてタクシー業務を務める人にとって乗務初日はものすごく不安！
この不安を取り除くためにベテランドライバーには一緒に同乗してもらい指導・教育にあたってもらっています。



相談員

高年齢のベテラン乗務員には、新任乗務員の力になってあげるために、声掛けや、普段の様子を気にてほしい旨をお願いしています。
これらをする事で新任乗務員は不安解消やスキルアップにも繋がり、また、高年齢乗務員は頼られることによってモチベーションアップに繋がる。

リスク軽減に関する取り組み

雇用契約期間

弥生交通では、定年後の雇用契約期間が年齢毎に変化します。

65歳以上は1年更新、70歳以上は半年更新、75歳以上は3ヶ月更新更新期間を変化させている理由は従業員の変化を見逃さないため。

高齢になっていくに併せて確認する機会を増やすことで労働災害リスクを減らすようにしています。

徹底した健康管理

年2回（春と冬）に健康診断を実施。健診結果が再検査の場合は3ヶ月以内に再検査を実施してもらっています。

また、年1回メンタルヘルスチェックを実施しています。

雇用契約更新時には認知・生活機能の問診を行い産業医が確認します。

設備に関する取り組み



タクシー車載設備の充実化

従来のタクシーはカーナビゲーションとデジタル無線の組み合わせシステムを構築して様々なタクシーサービスを実施していました。

現在ではこれらを廃止し、タブレット機器に変更。

タブレットにする事で都度システム構築をする事なく、アプリ化する事で不具合がある場合のアップデートやバージョンアップ、新サービスの導入などが今までより容易となります。

また、タクシーメーター等の他機器も新型に変更していく事で性能が向上し、機器操作における利便性や見易さを使い易さが改善されます。

このように、その局面で設備投資を行っていく事で、高年齢従業員を含む従業員全体の負担を軽減しています。

設備に関する取り組み

デモ機作成、フォローアップ研修



今後の課題

更なる健康起因に対するリスク軽減の実施

高齢者の最大のリスク要因は健康管理だと思っています。
特にタクシー乗務員の場合は営業中は一人きりで仕事をしています。
急な健康起因によっての交通事故が最大の懸念です。
また、昨今高齢者による交通事故が社会的にも問題となっています。
タクシー事業者として高齢者の健康起因や運転動作などが原因の交通事故を防ぐためには常日頃の管理はもちろんですが、
もっと深く健康管理をする事が大切になってきます。
例えば脳検診や癌検診などがあります。
これらの検診を実施し、更なる健康管理をしていけるようにするしていく事が今後の課題となると考えています。

ご視聴ありがとうございました！



弥生交通株式会社